

<白金標準、関税、需給要因を織り込み 4650 円へ・・・>



(出所：オアシス)

トランプ大統領は施政方針演説を控え、カナダとメキシコに対して 25%の関税を発動させている。ただ施政方針演説を終えた翌日にはカナダとメキシコに対する自動車を含め関税発動を 4 月 2 日まで延期する大統領令に署名するなど、依然と関税発動が回避されている。また WPIC 第 4 四半期 PGM 需給報告では、2024 年は 31 トンの供給不足となり、2025 年も 26 トンの供給不足を予想している。特に第 3 四半期の報告で 2025 年は 16 トンの供給不足を示していたが 57%増加した事示している。特に地上在庫は 2024 年に前年比で 23%減少の 105 トンであったが、2025 年は更に 25%減少する 79 トンと予想し、需要の 4 ヶ月分にも満たない水準まで低下し、2028 年には枯渇する可能性が指摘されている。特に WPIC 調査部長は、価格低迷の理由に地上在庫の存在を示すも、2028 年まで供給不足は続き地上在庫は枯渇する可能性が高く、NY 白金で 900 ドル～1100 ドルのレンジを続け、いずれポジティブな反応を見せて来ると示唆しており、白金標準先物も 4500 円～4800 円のレンジを維持し底固めを続けながら、4650 円へ向けて戻りを見せると思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が切り上げながら、**シグナル**も下げている。また RCI では**短期**が上昇し、**長期**が下げ止まり見せており、オシレーターでは基調が強気へ移行する動きを示していると思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,065,000 円(2025 年 3 月 10 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 68,640 円(2025 年 3 月 10 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>